

食育推進事業 令和6年度実績および令和7年度計画 (仙台市事業)

資料1-2
令和7年8月28日
令和7年度
仙台市食育推進会議

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針			
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他				
									1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	ア	イ	ウ	
									朝食の習慣化	食事のバランスのよい	健康な歯と口の維持	安全な食生活	の地元活用食材・郷土料理	進和・食習慣化の理解促	の地元活用食材・旬の食材	食品ロス削減	品環境の負荷の小さい食	ことその他食育に関する	アル多様なライフスタイル	的一貫的な組織横断	日時常代へデジタルへ新化	
1	継続	危機管理局	減災推進課	災害に備えたローリングストック等の食料備蓄の普及啓発	一般市民	災害用備蓄について市民に普及啓発	市政出前講座や防災・減災アドバイザーの講座、仙台防災未来フォーラム、せんだい防災のひろばなどのイベント等において、災害用備蓄のローリングストック等を市民へ啓発した。	市政出前講座や防災・減災アドバイザーの講座、仙台防災未来フォーラム、せんだい防災のひろばなどのイベント等において、災害用備蓄のローリングストック等を市民へ啓発する。									○	○				
2	継続	市民局	消費生活センター	食品に関する講座等の開催	一般市民	食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	10月、1回、参加52名	10月、1回									○	○				
3	継続	市民局	消費生活センター	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	消費生活に関する様々な情報の提供。	9月、12月に、食品ロスや食品表示に関する記事を掲載した。 (発行部数 各9,000部×2回=18,000部)	9月、3月（2回予定）に、食育や食品表示に関する記事を掲載する。 (発行部数 各9,000部×2回=18,000部)								○	○			○		
4	継続	市民局	消費生活センター	ホームページによる情報提供	一般市民	食品表示に関する情報の提供。	年間を通じて食品表示に関する記事を掲載し、情報提供を行った。	年間を通じて食品表示に関する記事を掲載し、情報提供を行う。														
5	継続	市民局	消費生活センター	消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	行政機関や、各種団体の啓発資料等を設置し、情報提供の場とする。	年間を通じて行政機関や各種団体の啓発資料等を設置し、情報提供を行った。	年間を通じて行政機関や各種団体の啓発資料等を設置し、情報提供を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
6	継続	市民局	消費生活センター	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	消費生活の知識を楽しく学ぶことができる消費者教育ウェブ教材「伊達学園」において、幼児期から成人まで発達段階に応じた情報提供を行う。また、学校における消費者教育をより一層支援することを目的とした小学校高学年向けのウェブコンテンツ「授業でござる」では、お金の使い方や地産地消などの情報提供を行う。	随時	随時								○						
7	継続	市民局	消費生活センター	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	小・中学生	子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を作製し、市内の小中学校へ情報提供。 ①めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット）－ウェブ教材「伊達学園」内に電子教材として掲載。 ②めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本）－ウェブ教材「伊達学園」内に電子教材として掲載。	年1回(3月予定)	年1回(3月予定)									○	○				
8	継続	健康福祉局	障害者支援課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	障害児（者）施設歯科健 康診査事業・歯科健康教 育	障害者施 設通所者と その保護 者、施設ス タッフ	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 障害者通所施設へ対する年2回の歯科健康診 査・保健指導の実施	11施設 23回 延303人	・保護者による適切なホームケアができるよう保健指導の充実と施設状況に応じた柔軟な対応継続 ・かかりつけ歯科医の推進 ・各施設が歯科保健に関して抱える課題の把握に努める	○	○												
9	継続	健康福祉局	高齢企画課	高齢者食の自立支援サー ビス事業	高齢者	要支援・要介護認定等を受けている高齢者のうち、食事の準備が困難な方に対し、栄養バランスのとれた弁当を手渡しで配食することにより、低栄養状態の予防・改善及び安否確認を行う。	登録者数 1,332名（R6年度末時点） 延配食数 266,544食	配食計画数 288,792食	○													

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針					
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他						
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 地元活用食材・郷土料理	2-2 和食文化の理解促進	3-1 地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的なライフスタイル	ウ 日時常代への対応(組織横断)			
									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
10	継続	健康福祉局	地域包括ケア推進課	シニア世代向け介護予防栄養講座	おおむね65歳以上の市民	概ね65歳以上の方で構成されている地域で活動する団体に宮城県栄養士会の管理栄養士等を派遣し、「栄養講話」や「調理実習」を通じて食の大切さの普及啓発を行う。	・実施回数 26回 ・参加者数 386人	R6と同様に実施	●	●	●	●												
11	継続	健康福祉局	地域包括ケア推進課	介護予防把握事業	70歳、75歳、80歳市民（事業対象者、要介護・要支援認定を受けている方を除く）	生活機能を確認するためのチェックリストに咀嚼嚥下の項目を設定し送付。機能低下が心配される場合、介護予防の取り組みを勧奨。	・70,75歳の方へのフレイル予防啓発資料送付者数：24,311人 ・80歳の方への豊齢力チェックリスト送付者数：7,183人 ・豊齢力チェックリスト該当者への送付：3,120人 （【参考】豊齢力チェックリスト該当者において、 ①栄養に関わる設問No11～12のうち2点以上に該当した者の数：73人、 ②歯や口に関わる設問No13-15のうち2点以上に該当した者の数：959人） ・地域包括支援センターによる訪問の案内の送付：1,749人	R6と同様に実施	●	●	●													
12	継続	健康福祉局	地域包括ケア推進課	介護予防教室	おおむね65歳以上の市民	介護予防の普及啓発を図ること等を目的に、地域包括支援センターが運動教室や栄養講座、「認知症の正しい理解」に関する講座等を実施する。	・開催回数：1,046回（うち栄養197回、口腔219回） ・延べ参加者数：13,276人（うち栄養2,536人、口腔2,817回）	R6と同様に実施	●	●	●	●												
13	継続	健康福祉局	地域包括ケア推進課	訪問・通所連動型短期集中予防サービス	事業対象者、要支援1、2の方	リハビリ専門職等がご自宅を訪問し、生活状況や課題を確認したうえで、通所による運動、栄養改善、口腔機能向上に向けた介護予防プログラムを3ヵ月間集中的に行う。また、自宅でもできる運動方法等を学び、習慣的に健康づくりやフレイル予防に取り組むことを目指す。	・実施場所：5か所 ・実通所人数：51人	R6と同様に実施	●	●	●	●												
14	継続	健康福祉局	地域包括ケア推進課	フレイル予防応援教室	65歳以上の市民（SARC-Fに該当する方）	スポーツクラブ等で行う運動教室に参加し、外出や運動などの習慣を身に着ける。（口腔や栄養のプログラムは任意で実施）	・実施場所：20か所 ・実参加人数：288人	実施場所を既存の20か所に加え、令和7年7月より37か所に拡充し実施する。	●	●	●	●												
15	継続	健康福祉局	地域包括ケア推進課	フレイル予防アウトリーチ支援事業	おおむね65歳以上の市民	地域包括支援センターが理学療法士等運動・社会参加の専門職及び栄養士等口腔・栄養の専門職とともに商業施設等の日常生活の場へアウトリーチを行い、フレイル及びプレフレイル状態の高齢者を地域の中で早期に発見し個別支援・介入につなげることで、地域における介護・フレイル予防の取組を強化する。	・実施回数 124回 ・参加者数 4,026名	R6と同様に実施。 事業を通して地域包括支援センターと地域の専門職がつながれるようサポートを行う。	●	●														
16	継続	健康福祉局	地域包括ケア推進課	市民協働フレイル予防事業	おおむね65歳以上の市民	住民ボランティアであるフレイルサポートを養成し、地域でフレイル予防の普及啓発に向けたフレイルチェック活動（栄養や咀嚼嚥下の項目を含む）を通じて、高齢者の活躍の場や支え合い、地域づくりに繋げる。	・新規養成地域 2 地域 ・新規養成サポート数 地域型37人 出張型22人	地域数を拡大予定。 出張型サポートが地域でも活躍できるよう、関係者で検討し環境の整備を行う。	●	●														
17	継続	健康福祉局	保険年金課	国民健康保険特定保健指導	国民健康保険特定保健指導対象者	メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するための保健指導を行うことにより、対象者が自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようになることを通して、生活習慣病の予防につなげる。（第3期データヘルス計画より）	動機付け支援実施率：11.3%（R5法定報告） 積極的支援実施率：10.3%（R5法定報告）	・（動機付け）【拡充】登録医療機関の実施状況等の把握を行い、実施率向上に向けた体制や支援、指導方法の見直しに取り組む。 ・（積極的）【拡充】ICTの活用やweb予約システムの導入等利用しやすい方法への見直しや、夜間・休日の実施による環境の整備等に取り組む。 ・【拡充】血糖値コントロールに着目した特定保健指導プログラムを未利用者対策の一環として試行する。	●	●														

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針			
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他				
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な支援	ウ 日時代への対応	
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な支援	ウ 日時代への対応	
18	継続	健康福祉局	健康政策課	仙台市ホームページ 食育のページでの発信	一般市民	食育事業の紹介、関係機関等へのリンクなど、情報発信	・せんだい食育ネットで食育の情報を集約 閲覧数：1,574件	仙台市食育推進計画（第3期）に合わせ、内容を充実させる	○	○												
19	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	食育月間事業 食育の日普及啓発	一般市民	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 ・月間等に合わせたパネル展の実施、庁内放送、庁内デジタルサイネージ、啓発資料の配布による食育啓発 ・関係機関（児童館、市民センター、図書館、食生活改善推進員等）と連携してのパネル展実施・啓発物の掲示等 【健康政策課】 ・食育月間にについてSNSで発信	【各区家庭健康・各総合支所保健福祉課】 ・パネル展の実施 延8回 ・資料等配布 延 4,096部 ・月間および食育の日の庁内放送 78回 ・関係機関・団体との連携による取組：36施設・団体（内訳 太白区 1 施設、泉区34施設、秋保1団体） ・期間中の事業での朝プラ啓発 2回（宮城総合支所） 【健康政策課】 ・食育月間に合わせて食育推進ロゴマークの周知と食育について啓発 Facebook、Instagramの配信 各1回	・朝プラの内容を盛り込んだ啓発 ・展示や媒体の配布を活用した食育の周知 ・関係機関との連携を図りながら、市民が食育に関心を持てるような企画、啓発を実施。 ・食育の啓発を通して市民が自身の食生活の振り返りの機会や、改善のきっかけとなるよう働きかける。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
20	継続	健康福祉局	健康政策課	フェイスブックおよびインスタグラムによる健康情報の発信	一般市民	健康政策課フェイスブックページおよびインスタグラム「仙台伊達なキッチン-だてきち」で、食を中心とした健康情報や簡単レシピなどの発信	Instagram : 発信71回、フォロワー数470人 Facebook : 発信67回、フォロワー数131人 ・健康長寿産業連合会との協働による、Instagramを用いたZ世代の健康新規事業向上のための取組みとして、「プレコンセプションケア×食」の動画による情報発信	関係団体等と連携し、Instagramを相互活用した食育啓発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	継続	健康福祉局	健康政策課 各総合支所保健福祉課 泉区家庭健康課	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	【宮城総合支所保健福祉課・秋保総合支所保健福祉課・泉区家庭健康課】 食を通じた健康づくりボランティア「食生活改善推進員会（宮城・秋保・泉）」の活動支援 ・会の活動や運営等における情報提供や助言 ・食生活改善推進員の育成支援（研修会の実施など）	・仙台市食生活改善推進員協議会打ち合わせ会の開催 2回 ・日本食生活協会委託事業の実施 ・宮城県委託事業の実施（フレイル予防） 【青葉区宮総】 ・調理実習（会員学習会） 13名参加 【太白区秋総】 ・会員学習会での講義 6回 【泉区】 ・自主勉強会 年3回 ・区の健康づくり講話への参加 延3回	・仙台市食生活改善推進員協議会打ち合わせ会の開催 年2回 ・日本食生活協会委託事業、宮城県委託事業実施の支援	○	○	○	○	○	○	○	○						
22	継続	健康福祉局	健康政策課	大学との連携による若い世代への食育推進事業 「大学生の食育プロジェクト」	若い世代	若い世代への食育啓発のため、同世代の学生が自らのアイディアで、より多くの若者に食の大切さを浸透させ、食育の関心を高める取り組みを行う。	学生15人参加 企画会議および反省会の開催 4回 食育活動の実施（健康フォーラム出展）1回 ・病院管理栄養士、減塩商品を販売する食品関連事業者の講話 ・減塩についての啓発方法の検討、減塩に関する媒体の作成 ・子育てフェスタ＆健康フォーラムでの減塩啓発ブースの出展	・令和6年度に引き続き減塩をテーマとした食育活動の手法について検討する ・10月13日健康フォーラムへの出展	○	○	○	○										
23	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	地域健康教育（乳幼児）	地域の子育て中の保護者	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	24回 延150組参加（青葉区3回20組、宮城総合支所1回7組、宮城野区7回36組、若林区7回57組、太白区2回10組、秋保総合支所1回3組、泉区3回、17組） 個別相談 14件(青葉区2件、太白区10件、秋保総合支所2件)	・いきいき市民健康プランアクションプランの視点を盛り込み、生活習慣病と食事の関係について伝える 【秋保総合支所】児童館の事業に合わせ相談会を開催	○	○	○	○										
24	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦、乳幼児の保護者など	【健康政策課】訪問栄養相談員の委嘱 【各区家庭健康課・宮城総合支所保健福祉課】家庭訪問による、生活実態に合った具体的な食事に関する支援	訪問栄養相談員委嘱：23名 訪問実績：妊産婦2人、乳幼児353人（うち10件職員対応）、その他（～39歳）0人	母子保健事業等を通じて広く事業を周知し、利用につなげる。	○	○		○										

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点								★推進方針						
									1 健康				2 食文化		3 環境								
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 地元活用食材・郷土料理	2-2 和食文化の理解促進	3-1 地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知の小食	3-3 品ロス削減	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的(組織横断)	ウ 日時常代・ヘデジタル化への対応		
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 地元活用食材・郷土料理	2-2 和食文化の理解促進	3-1 地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知の小食	3-3 品ロス削減	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的(組織横断)	ウ 日時常代・ヘデジタル化への対応		
25	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	食生活・栄養相談(妊産婦・乳幼児)	乳幼児の保護者及び妊産婦	【各区家庭健康課・各支所保健福祉課】電話・来所による栄養相談(随時)	妊産婦 14件、乳幼児 368件	R6と同様に実施	○	○		○											
26	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	地域健康教育(成人)	一般市民(成人)	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】町内会、地域事業所等での、生活習慣病予防などをテーマにした講話、個別相談等	18回、延673人(青葉区4回87人、宮城野区1回32人、若林区6回337人、太白区1回19人、秋保総合支所2回50人、泉区4回148人) 個別栄養相談 20件	・区・地域の実情に合わせ、いきいき市民健康プランアクションプランの視点を盛り込んだ内容を実施する ・地域住民が集まる機会を捉え、利用を促す	○	○	○												
27	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	食生活・栄養相談(40~64歳)	一般市民(40~64歳)	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】訪問、電話、来所による栄養相談(随時)	74件	R6と同様に実施	○	○	○												
28	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	地域健康教育(高齢者・介護予防)	高齢者やその家族	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした、高齢者の低栄養や介護予防に関する講話、栄養相談等	29回 延704人参加 個別栄養相談 8件	R6と同様に実施	○	○	○												
29	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	食生活・栄養相談(65歳以上)	一般市民(65歳以上)	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】訪問、電話、来所による栄養相談(随時)	・訪問による相談 1件(若林区) ・電話・来所による相談 58件(青葉区13件、宮城総合支所4件、宮城野区8件、若林区5件、太白区12件、泉区16件)	R6と同様に実施	○	○	○												
30	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	介護予防センター事業における健康教育	介護予防運動サポート	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 ・介護予防運動サポートスキルアップ研修会等で、必要に応じ健康的な食生活について支援実施 ・サポートを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。 ・介護予防運動サポートスキルアップ研修会等における歯科健康教育(オーラルフレイルを予防して健康寿命の延伸を目指す)	9回 延208人参加 資料配布 4回 110部	・媒体等を活用し、より実践的な内容でわかりやすくフレイルの予防方法を周知。介護予防サポートが周囲の高齢者に伝達しやすい内容を伝えれる。		○	○								○	○			
31	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 ・健康づくりブースにおいて、クイズや演習など、媒体を活用した展示等による普及啓発	16回 延2200人参加	食育への興味を高める媒体を工夫しながら実施	○	○	○	○											
32	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	健康増進普及月間事業 ・食生活改善普及運動	一般市民	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 ・月間に合わせた、市政により、区ホームページ、庁内放送、パネル展、資料・レシピ等の配布等による普及啓発 ・関連施設との連携によるブース設置、イベントの開催 ・講演会開催	パネル展の実施 11回 来場者数延 1,283人 資料配布 938部 【宮城野区】 市民センター共催のイベント実施 2回、庁内放送 4回 ポスター配布 54施設 【青葉区】 講演会の案内へ啓発資料同封 1回 467部	・健康増進につながる健康レシピの配布 ・関係施設等と連携し、様々な場所での資料掲示やパネル展を実施することで、より多くの市民への啓発をねらう 【宮城総合支所】広瀬図書館と連携し、関連書籍の陳列等を実施することでより多くの市民への啓発をねらう	○	○	○	○											
33	継続	健康福祉局	健康政策課	健康お役立ちレシピコンテスト	一般市民	市民が考えた健康的な食事のレシピの募集および市民への還元により、市民が主体となった健康的な食習慣づくりを推進。	・R6コンテストとして、「不足しがちな野菜が簡単にとれる、健康お役立ちかんたん野菜レシピ」をテーマにレシピを募集。保育所、学校にも周知した。応募者の中には小学生もあった。応募作品は13品、うち5作品を入賞作品として表彰、Instagramやホームページにて紹介(2作品は小学生が考案したレシピ) ・健康長寿産業連合会、エームサービス株式会社との連携により、R5年度のコンテスト入賞レシピ2種類および学生成人気ナンバーワンレシピ1種類を株式会社TOPPANの社員食堂のメニューとして提供。 1回1メニュー、約50食を3回実施。活用レシピ3種類、計約150食を提供。	・R7のコンテストもR6に引き続き、不足しがちな野菜を手軽に増やすための「プラスワンの野菜料理」をテーマにレシピを募集する。募集にあたっては、保育所、学校などにも協力いただき、幅広く周知できるよう工夫する。 ・エームサービス株式会社との連携により、R6に実施した事業所給食での入賞レシピの活用をさらに拡充し、より多くの事業所給食で提供できるようにする。		○										○			

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点								★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他			
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的(組織横断)	ウ 日時常代へ対応ターニュアル化
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的(組織横断)	ウ 日時常代へ対応ターニュアル化
34	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	仙台市食環境整備事業 「仙台伊達なマルシェだてまる」	食料品等販売店 一般市民	市民が食を通じた健康づくりを自然と意識できるよう、①または②の取り組みを行う食料品販売店を登録し、市民へ情報発信する。 ①「塩eco（減塩）」：減塩商品についてのコーナー設置または減塩商品に注目することができる啓発を行う。 ②「栄養バランス」：1食で栄養バランスが整う弁当の紹介や、惣菜等の組み合わせの提案の実施。健康的な組み合わせで食品の選択ができるよう掲示により誘引する。	・登録店舗数 33店舗（R7.3月末時点） 【健康政策課】 ・店舗本部との打ち合わせ：2事業者、計6回 ・食品関連事業者との情報共有：3事業者、計4回 ・みやぎ食環境づくりプロジェクト情報交換会への参加、情報提供：1回 【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 ・登録店舗への実施確認のための訪問	【健康政策課】 ・市内に店舗を展開する食品販売事業者を管轄する本部との媒体の検討 ・減塩や栄養バランスを考慮した食品を製造する食品関連事業者との連携の模索 ・市民に対し、尿ナトリウム比測定を活用した生活習慣病予防のイベント等と連動させた普及啓発の実施 【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 ・イベントの共催 ・新規登録に向けたPR活動 ・市民への周知・啓発	○												
35	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	給食施設指導	特定給食施設 条例に基づく給食施設	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 健康増進法に基づく特定給食施設、条例に基づくその他の給食施設に対する、栄養管理、衛生管理指導	・全市研修会、管内研修会の実施 開催回数：6回（管内1回×5区、全市1回）延353施設参加 ・巡回指導 延131施設 ・電話等での相談：16件	・研修会についてはR6と同様回数で実施。 ・施設への指導に併せ、喫食者・従事者を対象とした働き盛り世代への健康づくりの啓発を実施。 ・巡回指導の増加や情報提供の充実による個別支援の強化。	○		○										
36	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 健康教育、食育講座および健康づくりや食育に関するイベント等において食品表示について知識の普及啓発の実施	健康教育での啓発 39回 997人 パネル展 4回 8部 市民への周知啓発 2回 28名	・仙台市食環境整備事業「仙台伊達なマルシェだてまる」との連動した啓発 ・機能性表示食品を含む健康食品の安全な活用方法について併せて啓発 ・健康教育の場等を活用した啓発パンフレットの配布、併せて適正体重の維持、減塩の実践につながるよう啓発する	○		○										
37	継続	健康福祉局	健康政策課 こども家庭保健課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	乳幼児歯科健康教育	乳幼児	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 離乳食教室、育児グループ、児童館等において、歯科保健指導・健康教育・健康相談等の実施	離乳食教室 66回 666人 地域活動における乳幼児期歯科健康教育・歯科保健相談 120回 917人	「健全な咀嚼機能の育成」に関する保健指導の強化	○	○											
38	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	フッ化物洗口導入支援事業	幼児	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 フッ化物洗口の新規導入を希望する市内保育所・幼稚園等に技術支援や必要物品の提供	フッ化物洗口実施施設181件 (R5年度：178件)	・フッ化物洗口未実施施設への継続した事業参加の勧説 ・フッ化物洗口実施施設が安全に実施できるよう支援の継続			○										
39	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	学齢期の歯科健康教育、学校保健関係者との懇談会開催	学齢期	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 児童館・小中高等学校等における健康教育の実施、および、養護教諭等の学校保健関係者との懇談会の開催	地域と共に育む子どもの健康づくり事業 3回88人 学齢期の歯と口の健康づくり 13回410人	食育や防煙教育等と連携した取り組みを実施	○	○											
40	継続	健康政策課	健康政策課 各家庭健康課 各保健福祉課	ハローフロスプロジェクト	高校生・大学生・専門学生等・職域	青年期からの歯周病予防で、大学生等を対象に「ハローフロスプロジェクト推進部会」で作成したリーフレットを用いてデンタルフロスの啓発を実施	リーフレット配布 9917部	大学・専門学校等と協働で啓発機会の拡大。高等学校での啓発。			○										
41	継続	健康福祉局	健康政策課	20歳のデンタルケア	20歳の市民	20歳の市民を対象に歯科健診と歯周病予防のセルフケア能力向上のための歯科保健指導を実施	受診者数 20歳：10,676名 受診率 20歳：11.5%	・受診勧奨の継続 ・歯周病検診の新しいマニュアル、リーフレットの作成と研修会の開催			○										
42	継続	健康福祉局	健康政策課	歯周病検診	30歳から70歳の節目者	30歳から70歳の節目者に対する歯周病検診の実施	受診者数 40歳951名 50歳1,277名 60歳1,301名 70歳1,748名 受診率40歳6.7% 50歳7.3% 60歳9.6% 70歳14.9%	・歯周病検診の新しいマニュアル、リーフレットの作成と研修会の開催			○										

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点								★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境						
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ 的一貫性の組織横断	ウ 日時常代への対応
									15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
43	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	健康教育・健康相談（歯科保健指導）	成人	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 成人市民に対する歯科保健指導・健康教育、個別の歯科検診相談の実施	開設回数45回 参加者数（延）6,057名	オーラルフレイルに関する正しい知識、予防法の普及啓発と、認知度の向上を図る。	○	○											
44	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	歯と口の健康週間事業	市民	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 6月4日から10日までの週間に合わせて、「市民のつどい」開催・パネル展示・懸垂幕掲示・教材貸出等の啓発事業	参加者 延 7,240人	むし歯・歯周病予防に併せて、口腔機能の育成・維持・向上について認知度向上の強化	○	○											
45	継続	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	歯と口腔の健康づくり月間、健康増進普及月間、地域健康まつりなどの市民啓発事業	市民	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 月間等に合わせて、パネル展や歯科相談などの実施	参加者 延 20,141人	生活習慣の改善等と合わせた啓発の強化を図る。	○	○											
46	継続	健康福祉局	生活衛生課	せんだい食の安全サポート制度	せんだい食の安全情報コミュニケーションセンター	地域におけるパンフレット配布活動の実施	4回実施	地域におけるパンフレット配布活動の実施			○										
47	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課 宮城総合支所保健福祉課	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	【各区衛生課・宮城総合支所保健福祉課】 ・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	パンフレット配布：6609部 「食の情報館」配布：3650部	【各区衛生課・宮城総合支所保健福祉課】 ・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布			○										
48	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	【各区衛生課】 ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	【各区衛生課】 ・ホームページによる食品衛生情報の提供			○										
49	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	【各区衛生課】 食品の安全性に関する講演会の開催	2月13日実施、オンライン会場集合型併用開催、77名参加	【各区衛生課】 ・食品の安全性に関する講演会の開催			○										
50	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	【各区衛生課】 ・市政出前講座（担当テーマ：安全・安心の食生活）における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	市政出前講座：3回、31名 市民向け食品衛生講習会：112回、3718名	【各区衛生課】 ・市政出前講座（担当テーマ：安全・安心の食生活）における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施			○										
51	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	【各区衛生課】 ・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	【各区衛生課】 ・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応			○										
52	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	せんだい食の安全サポート制度	せんだい食の安全サポートーーせんだい食の安全情報アドバイザー	【各区衛生課】 ・せんだい食の安全サポートーー会議における食品衛生情報の提供 ・せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及啓発活動	せんだい食の安全サポートーー会議：3回実施 せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及活動：2回実施	【各区衛生課】 ・せんだい食の安全サポートーー会議における食品衛生情報の提供 ・せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及活動			○										
53	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	【各区衛生課】 食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	随時実施	【各区衛生課】 ・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施			○										
54	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	食品等事業者	【各区衛生課】 ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	ファクシミリ：106回 メール：2回	【各区衛生課】 ・ファクシミリ等による食品衛生情報の提供			○										
55	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	【各区衛生課】 食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	事業者向け衛生講習会：80回、2460人	【各区衛生課】 ・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施			○										
56	継続	健康福祉局	生活衛生課 各区衛生課	食品等事業経営者セミナーの開催	食品等事業者	【各区衛生課】 食品等事業経営者セミナーの開催	11月26日実施、オンライン、42名参加	【各区衛生課】 ・食品等事業経営者セミナーの開催			○										

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知の小食	3-3 品ロス削減	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ 的一貫的(組織横断)	ウ 日時常代へ対応ターニュアル化		
									の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理		
57	継続	こども若者局	こども家庭保健課	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供	子育てサポートブック「たのしつつ」に掲載している内容（妊娠中の食生活・離乳食・幼児食について）の情報発信を実施	隨時		○													
58	継続	こども若者局	こども家庭保健課	妊婦歯科健康診査	妊婦	妊婦を対象とした歯科健康診査、保健指導の実施	受診者数：2,946人 受診率：44.3%	各登録医療機関にて随時実施予定		○	○												
59	継続	こども若者局	こども家庭保健課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	母子健康手帳交付時歯科健康教育	妊婦	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】母子手帳交付時に食生活を含めた歯科保健指導の実施	母子健康手帳交付者 6,651名	妊婦歯科健康診査の受診勧奨の継続とかかりつけ歯科医での継続管理受診の啓発		○	○												
60	継続	こども若者局	こども家庭保健課	フッ化物歯面塗布助成事業	乳幼児	「3歳児カリエスフリー」を目指し、フッ化物歯面塗布1回分の助成と歯科保健指導の実施。	受診者数：3,369人 受診率：47.9%	各登録医療機関にて随時実施予定		○	○												
61	継続	こども若者局	こども家庭保健課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	3～4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】乳児の食生活や乳歯についての資料配布、パネル展示等	3～4か月時育児教室：214回、5,107人	R6と同様に実施		○	○												
62	継続	こども若者局	こども家庭保健課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	離乳食教室	乳児の保護者	【各区家庭健康課・各支所保健福祉課】 ・離乳食の進め方や具体的な調理の方法および乳児の口腔機能の発達についての集団指導・個別相談の実施 ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする	離乳食教室：66回、666人	R6と同様に実施		○	○	○									○	○	
63	継続	こども若者局	こども家庭保健課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	【各区家庭健康課・各支所保健福祉課】 幼児期の健康的な食生活と家庭を含めた家族全体の食生活についての啓発と、個別相談	1歳6か月児健診：197回、個別相談 963人 2歳6か月児歯科健康診査：199回、個別相談 635人 3歳児健康診査：206回、個別相談 532人	R6と同様に実施		○	○	○									○		
64	継続	こども若者局	こども家庭保健課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	1歳6か月、2歳6か月、3歳児歯科健康診査	幼児	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 各健診時に歯科集団指導を実施	1歳6か月児健診：197回、6,631人 2歳6か月児歯科健康診査：199回、6,962人 3歳児健康診査：206回、7,278人	R6と同様に実施		○	○												
65	継続	こども若者局	こども家庭保健課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	各種幼児歯科健診事後指導	幼児	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 むし歯ハイリスク児に対して、適切な時期に電話・文書（必要に応じて訪問）を実施	1歳6か月児 333人 2歳6か月児 570人 3歳児 84人	むし歯ハイリスク児への文書または電話フォローの継続		○	○												
66	継続	こども若者局	こども家庭保健課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	【各区家庭健康課・各総合支所保健福祉課】 妊娠中の食生活や歯と口の状況の確認と、家族を含めた健康的な食習慣および歯と口の健康についての啓発・相談・指導	母子手帳交付説明会：110回、570人 母親（両親）教室：100回、1,914人	各区・総合支所の実情に合わせて実施		○	○												
67	継続	こども若者局	子育て応援都市推進課	子どもの居場所づくり支援事業	一般市民	食事の提供や学習支援などを通じて、こどもが安心して過ごせる居場所を提供する「こども食堂」の運営団体に対して、開設・運営費の助成を行うとともに、ネットワーク会議の開催により運営ノウハウの共有などの支援を行う。	こども食堂に対する助成を実施したほか、食材料費高騰への対応として助成上限額を上乗せするなど、運営団体への支援充実を図った。 助成実績件数：35件 助成実績額：6,768,000円 (通常分6,098,200円、物価高騰対策分：669,800円)	令和7年度も継続してこども食堂への助成を実施するほか、ネットワーク会議の開催により、団体間での意見交換を行い、地域での子どもの居場所づくりを支援していく。		○										○			

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針		
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他			
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知品ロス削減	3-3 の環境負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時代へ対応する新たな
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知品ロス削減	3-3 の環境負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時代へ対応する新たな
68	継続	こども若者局	運営支援課	仙台市主催研修（地域型）専門研修 認定こども園栄養士研修	幼保連携型・保育所型・幼稚園型認定こども園	乳幼児期の栄養管理、食事提供における給食管理、衛生管理等について理解を深め、施設での実践に繋げる。	「乳幼児期の発育・発達と離乳食について」8月30日実施 参加者数76名	6月13日実施 「日本人の食事摂取基準（2025年版）の概要と主な変更点」 「保育所等における食事摂取基準（2025年版）を活用した栄養管理」 R7年度計画より、専門研修 認定こども園栄養士研修を公立・私立・認定こども園栄養士の合同専門研修として開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	継続	こども若者局	運営支援課	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	【公立保育所・私立保育園（所）・認定こども園】各保育所等及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	随時実施	随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	継続	こども若者局	運営支援課	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所等入所児童の保護者	【公立保育所・私立保育園（所）・認定こども園】保育所等の給食だよりを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。	通年実施	通年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	継続	こども若者局	運営支援課	親子調理活動	保育所等入所児童と保護者	【公立保育所・私立保育園（所）・認定こども園】保育参観や懇談会等で親子調理活動を実施し、親子で食作りを楽しみ、家庭での食への興味や関心を深める。	随時実施	随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	継続	こども若者局	運営支援課	保護者への啓発	保育所等入所児童の保護者	【公立保育所・私立保育園（所）・認定こども園】・給食だよりに食育活動報告を載せ、保護者に周知する。・懇談会や給食試食会を実施する。	通年実施	通年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	継続	こども若者局	運営支援課	保育所等における食育の充実	保育所等入所児童と保護者	【公立保育所・私立保育園（所）・認定こども園】・各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」を作成し、保育の中での食育を推進する。・毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。・各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。	通年実施	通年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	継続	こども若者局	運営支援課	畑作りとその収穫物を利用した食作り	保育所等入所児童	【公立保育所・私立保育園（所）・認定こども園】・畑作りの年間計画をたてる。・子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。・収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。	通年実施	通年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	継続	こども若者局	運営支援課	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童	【公立保育所・私立保育園（所）・認定こども園】給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	随時実施	随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針			
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他				
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代への対応(新化)	
									朝食の習慣化	栄養バランスのよい	健康な歯と口の維持	安全な食生活	の地元活用食材・食文化の理解促進	和食文化の理解促進	の地元活用食材・旬の食材	食品ロス削減	品環境周知負荷の小さい食	その他食育に関する	アル多様なライフスタイル	イの統一的な組織横断	ウ日時常代への対応(新化)	
83	継続	こども若者局	運営支援課	仙台市主催研修（地域型）専門研修 小規模A型B型事業所内栄養士研修	小規模A・B型保育事業 事業事業所内保育事業	乳幼児期の栄養管理、食事提供における給食管理、衛生管理等について理解を深め、施設での実践に繋げる。	「保育施設の食事提供における衛生管理」 9月30日実施 参加者数90名	8月7日実施予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	継続	こども若者局	運営支援課	仙台市主催研修（地域型）専門研修 食物アレルギー研修	①公立保育所・私立保育園(所)・認定こども園の保育従事者等 ②小規模・事業所内・家庭的保育事業の保育従事者等	乳幼児期におけるアレルギー、アレルギー対応の基本について学ぶ。 対象者①②を交互に実施する	「乳幼児期における食物アレルギーの基礎知識」 10月16日実施 ① 参加者数150名	11月5日実施予定	○				○	○	○				○	○	○	○
85	継続	こども若者局	運営支援課	業務研修	保育所等職員	職場内で食育や食物アレルギーの研修を実施し、正しい知識を得るとともに職員間での共通理解を深め実践につなげる。	随時実施	随時実施					○						○	○	○	
86	継続	こども若者局	運営支援課	食物アレルギー研修会	保育所等職員	「エビペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する。	運営支援課保健師による訪問指導 26回 303名参加	随時実施					○					○	○	○	○	
87	継続	こども若者局	運営支援課	訪問相談	地域の子育て家庭保護者	【公立保育所・私立保育園(所)・認定こども園】 地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う。	随時実施	随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
88	継続	こども若者局	運営支援課	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	【公立保育所・私立保育園(所)・認定こども園】 児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える。	随時実施	随時実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
89	継続	こども若者局	運営支援課	保育所等における食育の充実	保育所等職員	【公立保育所・私立保育園(所)・認定こども園】 食育の一環として保育士が子どもと同じものを食べ、子どもが食べ物に興味や関心を持ち、食べる意欲を育てたり食事マナーに気付かせるような働きかけを行う。	公立保育所は指導食として実施 32か所	公立保育所は指導食として実施 31か所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
90	継続	こども若者局	運営支援課	保育所等における和食に関する取り組みの回数の増加	保育所等入所児童と保護者	・和食文化継承のための働きかけ ・和食献立の月実施提供回数の増加	新規事業	通年実施		○			○	○	○				○			
91	継続	こども若者局	運営支援課	三課合同 朝食に関する取り組み	保育所等入所児童と保護者	朝食の質の向上のための働きかけ	R6新規事業	随時実施	○	○									○		○	
92	継続	環境局	家庭ごみ減量課	HP等を活用した食品ロス削減の情報発信	一般市民	食の3Rにつながる情報をHP等で発信することにより、食品ロス削減に関する市民の機運醸成と食の大切さを再発見するきっかけづくりを進める。	年間を通じて、ごみ減量・リサイクルにつながる情報を記事として発信した。	通年で実施								○	○	○				

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針					
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他						
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知削減	3-3 の品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的組織横断	ウ 日時代への対応			
									の地元活用食材・郷土料理	進和食文化の理解促進	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知削減	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的組織横断	ウ 日時代への対応			
93	継続	環境局	家庭ごみ減量課	食品ロスガイドブックの活用	講座受講者等	「せんたい食品ロス削減ガイドブック第2版」を発行し、講座受講者等への配布、ウェブサイト「ワケルネット」において公開することにより、市民へ向けて食品ロス削減に関する啓発を行う。	ウェブサイト「ワケルネット」においてガイドブック公開するほか、市民向け食品ロス削減講座や、その他市民向け啓発イベント等でガイドブックを配布した。	市民向け食品ロス削減講座や、そのほか市民向け啓発イベントにおいてガイドブックを配布する。										○		○				
94	継続	環境局	家庭ごみ減量課	小売店、飲食店等での食品ロス削減	食品関係事業者 一般市民	小売店や飲食店などから発生する食品ロスを削減するため、小売店等から生じる消費期限の近い食品等を消費者に割り引いて提供するマッチングサービス「ワケルくんもったいないマルシェ」を運用する。また、飲食店等での食べ切りを推進するキャンペーンを展開し、食品ロス削減に向けた意識の啓発を行う。	・マッチングサービス「ワケルくんもったいないマルシェ」 令和6年度実績：協力店舗数39店舗、市内ユーザー数9,913人、食品ロス削減量約668kg ・飲食店等での食べ切りを推進するキャンペーン 忘年会や新年会等、飲食の機会が増える12月から1月にかけて、協力事業者の店舗（150店舗）に啓発ポスターを掲出して、食べきり啓発を実施した。	・「ワケルくんもったいないマルシェ」 通年で実施 ・飲食店等での食べ切りを推進するキャンペーン 12月～実施予定										○				○		
95	継続	環境局	家庭ごみ減量課	フードドライブ	一般市民	市施設と民間商業施設で未使用食品の回収事業を実施し、フードドライブの取り組みに関して啓発する。	回収した食品はNPO法人フードバンク仙台、仙台NPO法人ふうどばんくAGAIN及び仙台市社会福祉協議会へ全量引き渡している。 31か所の回収拠点で実施、食品の回収量は約16,628kg。	通年で実施									○		○					
96	継続	経済局	農林企画課	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	市民や子どもたちが「農」と触れ合い、体験できる機会の充実を図るために各種農園設置への支援（レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応）	学童農園：61農園53校（小学校27、中学校1、幼稚等25）で実施	学童農園：各農園4月～2月に2日以上農作業体験実施予定									○		○					
97	継続	経済局	農業振興課	環境にやさしい農業の周知	一般市民	「仙台市サステナブル農業推進リーフレット」を作成、関連機関へリーフレットの配架を依頼することで、本市における化学肥料削減による生産コスト削減と環境負荷低減活動を進めるとともに、市内で生産されている堆肥の情報を耕種農家に提供し、堆肥の使用を促す。	・「仙台市サステナブル農業推進リーフレット」を8,300部作成し、庁内、庁外関係機関へ窓口への配架について依頼した。	・「仙台市サステナブル農業推進リーフレット」を作成し、庁内、庁外関係機関へ窓口への配架について依頼する。										○						
98	継続	経済局	農業振興課	地産地消推進ロゴマーク「とれたて仙台」	一般市民	イベント等で地産地消推進ロゴマーク「とれたて仙台」を活用し、仙台産農産物のPRを図る。	販売会開催回数：7回 広報物制作数：10種 使用申請承諾件数：4件	地産地消月間（11月）を中心に、啓発イベントを実施予定									○		○		○			
99	継続	経済局	農業振興課	地産地消機会創出のための情報発信	一般市民	ホームページやSNSを活用し、市内産農産物などに関する情報を発信し、消費拡大を図る。 ①ホームページで、生産者取材や市内産農産物を使ったレシピを掲載するほか、事業の広報等を行う。 ②SNS（Instagram）で、生産者取材、販売店や直売イベントの広報のほか、市内産農産物やレシピ等の紹介を行う。 ③市内産農産物の情報を広く発信するイベントを11月に開催する。	①ホームページ ・サイトを訪れたユーザー数：16,709名 ・サイトへの訪問数：20,488件 （ページ表示回数：36,129回） ②Instagram ・記事投稿数：259回 ・フォロワー数：2,974名 ③とれたて仙台フェア 【会場】Route227's Cafe ほか市内各地 【期間】11月1日～11月30日 【内容】 ・仙台産農産物を使った特別メニューの提供 ・1か月間を「とれたて仙台」地産地消月間として、多様な主体による取組みを推進し、市全体で地産地消の機運を醸成を図り、より多くの消費者に届く情報発信を実現した。	通年 ①ホームページは随時更新を行う。 ②SNS（Instagram）は週2～3回程度の頻度で記事投稿を行う。 ③とれたて仙台フェア 【会場】市内飲食店（ハミングバード、HACHI系列店など）・販売店 【期間】11月1日～11月30日 【内容】仙台産農産物を使った特別メニューの提供													○		○	

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針			
									1 健康				2 食文化			3 環境			4その他			
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代へ対応する(新時代)	
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代へ対応する(新時代)	
100	継続	経済局	農業振興課	仙台産農産物の認知向上に向けたイベント(R5:米と米粉の活用促進事業)	一般市民	仙台産農産物の知名度の向上を図るとともに、市内飲食店等の地元企業の活性化を図るために、仙台産農産物を提供する飲食店を巡るスタンプラリーを開催する。	とれたて仙台スタンプラリー 【会場】市内34店舗（飲食店25店舗・直売所9店舗） 【期間】令和6年度10月1日～11月30日 【応募者数】56件 【内容】仙台産の農産物を提供する飲食店や直売所において、デジタルスタンプラリーを開催。スタンプラリーの取得数に応じて、仙台産農産物や加工品が当たる抽選に応募できる。	R7年度実施予定なし							○	○					○	
101	継続	経済局	農業振興課	仙台市旬の香り市	一般市民	仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園内 (R6年度は勾当台公園カフェ前、R7年度は勾当台公園市民広場と勾当台公園仮設広場にて実施) ②せんだい農業園芸センターみどりの杜	①4～11月まで計16回開催した ②4～10月まで計6回開催した	①4～11月まで計16回開催 ②5,6月の計5回開催							○	○						
102	継続	経済局	農業振興課	地産地消イベント開催	一般市民	・仙台産農産物を使った料理教室や生産現場の見学会等を開催し、地産地消への関心を高めもらう。	①仙台産野菜を使った料理教室 ・令和6年8月24日(土)『農と触れ合う親子イベント～工ダマメをおいしく食べよう～』小学生親子4組10名参加 ・令和6年11月10日(日)『仙台産野菜と花のブーケワークショップ』11名参加 ・令和6年11月20日(水)『伝統野菜「仙台白菜』の簡単アレンジ料理教室』8名参加 ・令和6年11月23日(土)『仙台産野菜の食文化体験料理教室』小学生親子8組16名参加 ・令和6年11月27日(水)『米粉と仙台産野菜料理教室』16名参加 ・令和7年2月23日(日)『プロッコリーを使ったパーティー料理教室』12名参加 ②生産現場見学会 ・令和6年8月17日(土)『仙台の農業を知るツアー「夏野菜』』小学生親子5組11名参加 ・令和6年11月2日(土)『仙台の農業を知るツアー「秋野菜』』小学生親子8組18名参加 ③栽培・収穫体験講座 ・令和6年8月25日(日)『種まき・植付け』小学生親子8組16名参加 ・令和6年10月20日(日)『収穫』小学生親子6組14名参加	①仙台産野菜を使った料理教室 11月の「とれたて仙台地産地消月間」に合わせて、料理教室・ワークショップを計3回開催予定。 ・令和7年11月9日(日) 『仙台産野菜×マヨネーズ手作り教室』 対象：小学生親子8組16名程度 ・令和7年11月中 『親子向みそづくり料理教室』(予定) 対象：小学生親子 『西洋野菜(ケール・トレビス)料理教室』(予定) 対象：一般向け ②生産現場見学会(年1回予定) 秋～冬頃に、仙台市内の生産現場を見学。 対象：小学生親子7組程度を予定。								○	○					
103	継続	経済局	農業振興課	せんだい収穫まつり開催	一般市民	・せんだい農業園芸センターにて開催 ・生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント	11月9日(土)・10日(日)開催 来場者数：2日間延べ10,229人	11月8日(土)・9日(日)開催						○	○					○		
104	継続	経済局	農業振興課	農食ビジネスモデル構築事業	一般市民	生産者、流通事業者、飲食店等と連携し、生産地と消費地の近さを活かした流通モデルを構築することにより、枝豆をはじめとした地元の農産物の高付加価値化、消費拡大を図る。	・今朝採り枝豆：飲食店提供54店舗、量販店・小売店提供26店舗 ・今朝採りうもろこし：飲食店提供4店舗 ・仙台白菜：飲食店提供1店舗、小売店提供11店舗	取扱う農産物の流通時期に実施予定						○	○					○		

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代への対応		
									の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代への対応		
105	継続	健康福祉局 経済局	生活衛生課 農林企画課	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	【健康福祉局】 ・実施時期 4月～3月 ・検体数 24（農産物）、96（水産物）、6（畜産物）、1（牛乳） 【経済局】 ・実施期間 4～10月 ・検体数 20（林産物）	【健康福祉局】 ・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する 【経済局】 ・予定実施期間 4～10月 ・予定検体数 20（林産物）															
106	継続	経済局	中央卸売市場管理課	NHKテレビ「てれまさ」	一般市民	仙台市中央卸売市場で取り扱う旬の食材と、その食材を生かした美味しい食べ方等を紹介する。	毎週1回放送	放送番組が「もりすた！」から「てれまさ」に変更になった。 毎週1回放送		○			○	○									
107	継続	経済局	中央卸売市場管理課	小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	【仙台おさかな普及協会・やさい・くだもの普及委員会】 ・食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらうため、一般市民や小学生親子に中央卸売市場内を見学してもらう ①一般見学 ②夏休み親子市場見学会	①一般見学者数 17団体 288名 ②夏休み親子市場見学会 参加者数 87名	①、②についてR6同様に実施予定							○								
108	継続	経済局	中央卸売市場業務課	保育所等サンマ教室への協力	①保育所等入所児童 ②中学生	【仙台おさかな普及協会】 ①おさかな普及協会が、保育所等に出向き、子供達が、魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、子供達にサンマの炭火焼を体験させる ②おさかな普及協会が、中学校に出向き、生徒達が魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、生徒達にサンマをおろしてみれ汁を作ることや、サンマの炭火焼を体験させる	①実施時期 10月、回数 1回、園児 270名 ②依頼が無かったため未実施。	10月頃実施予定		○			○	○	○								
109	継続	経済局	中央卸売市場業務課	生産者による出前授業への協力	小学生	【農業協同組合・仙台あおば(株)・やさい・くだもの普及委員会】 小学校の授業の一環として、生産者が小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。	①実施時期 R6.7月～R7.2月、回数 2回、生徒67人+173人=合計240名	R7.7月～R8.2月頃実施予定			○	○		○									
110	継続	教育局	健康教育課	学校給食フェア	一般市民	・給食メニュー提供及び資料展示	令和7年1月20日から24日に実施。	令和8年1月19日から23日に実施。	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
111	継続	教育局	健康教育課	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし、取り組んでいく。	各学校において、健やかな体の育成プランに基づき、食習慣・運動習慣・生活習慣に関する指導の実施に努めた。	健やかな体の育成プラン2024に基づき、随時実施	○	○	○	○											
112	継続	教育局	健康教育課	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力、食習慣についてその実態を把握し、分析検討を加え、もつて児童生徒の健康と体力の増進を図る。	10月末までに健康実態調査を実施し、3月末に健康実態調査報告書にまとめた。	10月末までに健康実態調査を実施	○	○	○	○											
113	継続	教育局	健康教育課	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者、市民、学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」(令和6年8月1日)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」(令和7年8月4日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
114	継続	教育局	健康教育課	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	食物アレルギー研修（令和6年5月8日、令和6年12月20日）を実施。	食物アレルギー研修（令和7年5月16日、令和7年12月10日）を実施。				○						○					

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的なライフスタイル	ウ 日時常代への対応		
									朝食の習慣化	栄養バランスのよい	健康な歯と口の維持	安全な食生活	の地元活用食材・食文化の理解促進	和食文化の理解促進	の地元活用食材・旬の食材	食品ロス削減	品環境周知負荷の小さい食	その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的なライフスタイル	ウ 日時常代への対応		
115	継続	教育局	健康教育課	調理講習会in学校給食センター	小学生との保護者	【学校給食センター】 ・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さを学ぶ機会を提供。	夏休みに市内在住の親子10組20名を対象に実施。	夏休みに市内在住の親子8組16名を対象に実施。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
116	継続	教育局	健康教育課	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	【小・中学校】 ・給食の時間における食に関する年間指導に基づき、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりを配付し、家庭における食育を促す。	各学校において、指導計画を基づき、給食を生きた教材として活用し、食に関する指導の実施に努めた。	各学校において随時実施。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
117	継続	教育局	健康教育課	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。	6月に地場産物の活用状況調査を実施。	6月の「せんだいっ子給食月間」で、地場産物の活用状況調査を実施。					○	○									
118	継続	教育局	健康教育課	ホームページでの情報発信	一般市民	・学校、仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	ホームページで地場産物活用献立の紹介などを随時更新した。	随時実施。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
119	継続	教育局	生涯学習課	親子食育講座	小学生との保護者	・子供の基本的生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う(各小学校の社会学級やPTA等に委託)	21校で実施(のべ実施回数37回、のべ参加者数957人)	令和7年4月～令和8年1月実施予定	○	○										○			
120	継続	健康福祉局 こども若者局 教育局	健康政策課 運営支援課 健康教育課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	「朝布拉！～朝ごはんにプラスワン」事業	保育所入所児とその保護者、小・中・高校生とその保護者、妊娠期から青年期までの一般市民	「朝布拉！～朝ごはんにプラスワン」を共通の標語として、各施設において、朝食摂取に関する啓発を行う	(令和6年度新規事業) ○食育推進連携事業キックオフミーティング：区・総合支所、健康政策課：12名、保育所、運営支援課：36名、学校・給食センター、健康教育課：24名 参加 ○「朝布拉！」ポスター配布：計188施設 ○9月「朝布拉！」強化月間としてポスター掲示、HPによる朝ごはんのとり方啓発 【市立保育所の取組み】 ・「朝布拉！」マーク・媒体の活用：32施設、延べ108回 ・「朝布拉！」でのこどもへの働きかけ：5施設 延べ7回 【市立小学校、中学校、高等学校、学校給食センターの取組み】 ・「朝布拉！」マーク・媒体の活用：55施設 延べ 296回 ・「朝布拉！」でのこどもへの働きかけ：28施設、延べ46回 【区・総合支所の取組】 ・「朝布拉！」資料配布 5,612部 ・「朝布拉！」媒体を使用した講話 38回 延べ1,848人	・5/12食育推進連携事業ミーティングを開催し、実施施設間で朝布拉！の取組みについての情報共有を行う。 ・昨年度のアンケート結果や担当栄養士の情報交換をもとに媒体等の見直しを行いながら、より市民が朝食摂取やバランスのとれた朝食をとることにつながる啓発の実施と、啓発の場面を増やす工夫をしていく。	○	○											○	○	○
121	継続	青葉区	家庭健康課	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・ニュースレター(NL)とホームページによる健康づくりの普及啓発	専門学校23校に年2回、うち食に関するテーマ(朝布拉、常備菜の内容)を盛り込んでニュースレター送付、	専門学校23校に食に関するテーマを盛り込んでニュースレターを送付する。	○	○	○		○	○	○							○	
122	継続	青葉区	家庭健康課	幼児食相談会	概ね1歳～2歳児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	年5回(6,8,10,12,2月)開催9件	年5回(6,8,10,12,2月)、対象を1歳～1歳4か月児にし、幼児食教室として集団形式で実施。	○	○	○	○	○										
123	継続	青葉区	家庭健康課	マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生(乳児の保護者)	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布	年6回30名参加	年6回開催。	○	○		○											

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針			
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他				
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代への対応	
									の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	の地元活用食材・郷土料理	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代への対応	
124	継続	青葉区	家庭健康課	育児相談会「まめっこ会」	1歳までの乳幼児と保護者	・育児相談 ・育児の情報提供など	育児相談会での栄養相談 年6回27件	年6回開催。	○	○	○	○										
125	継続	青葉区	家庭健康課	働き盛り世代の健康支援事業	児童と保護者	・市民センター、学校との連携による健康教育	・衛生講習会にて生活習慣病予防の講話と啓発チラシ配布 112名 ・給食施設関係者研修会にて睡眠と健康の講話(オンライン) 70施設 ・健康教育：職域3件 延86名	職域・子育て世代への健康教育。給食施設関係者研修会等での啓発、親子向け講座の開催	○	○			○	○	○							
126	継続	青葉区	家庭健康課	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室を個別相談会形式で実施 ・対象者に啓発資料送付	35~64歳特定保健指導非該当、HbA1c要指導の450名に個別相談会の案内と啓発資料を送付。 あおば健康づくり講座 7名参加	同条件で抽出した者に啓発資料と健康相談の案内を送付。	○	○												
127	継続	青葉区	家庭健康課	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話 ・健康づくりのための個別相談（再掲）	講座 5回 延42名 個別相談 延33名	健康講座年4回開催(食に関する講話2回予定)	○				○	○	○	○						
128	継続	青葉区	家庭健康課	常備菜レシピ作成事業	幼児から高齢者	・市民協働で作成した、常備菜レシピ集を使用したバランスの良い食事摂取についての普及啓発。 ・地域団体と共に講座にてレシピの普及啓発。 ・依頼のあった団体に向けて、健康教室を実施 ・HP掲載（随時） ・管内専門学校への普及啓発 ・当課事業（母親教室）にて、講座や講話を実施	常備菜レシピを活用した健康教育・講座 1回 参加者 計14名 啓発資料の配布 計557部 (内、レシピ集351部、チラシ70部、レシピカード136部)	・母親教室でのレシピ集の配布とアンケートの実施 ・離乳食や幼児食への活用も含めた啓発 ・レシピ集を活用した健康教育・講座の実施	○				○	○	○	○	○	○	○	○		
129	継続	青葉区	家庭健康課 宮城総合支所保健 福祉課	食育情報交換会	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設、認可外保育施設、企業主導型保育実施施設、事業所内保育施設の食育担当者等	食育に関する講話、事例発表、情報交換等	7/26開催 21施設22名参加 幼児期の肥満をテーマに講話とグループワークを実施。	乳幼児期の口腔機能の発達と咀嚼力の獲得をテーマに講話とグループワークでの開催を予定。	○	○		○	○	○	○			○	○			
130	継続	青葉区	宮城総合支所保健 福祉課	産後交流会	乳児の保護者	離乳食と家族の食生活についての講話	実施回数 3回（年12回のうち3回） 参加 48組	年間3回予定 (事業回数 年12回のうち食生活の講話を3回)	○	○		○						○	○			
131	継続	青葉区	宮城総合支所保健 福祉課	子育てネットワーク会議	保育施設、幼稚園、児童館、市民センター、小学校、学校支援地域本部、主任児童委員、社協等	子育てネットワーク会議の中で情報提供を行う	1回 39機関参加	1回開催予定 「乳幼児期からの運動や生活習慣づくりの大切さ、発育発達への影響や実際の活動で取り組む上でのアドバイス等」をテーマに宮城教育大学 黒川修行教授より講話をしていただく予定。									○	○				

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点								★推進方針					
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他				
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知品ロス削減	3-3 の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ 的一體的(組織横断)	ウ 日時常代へデ対ジタル化したな	
									の地元活用食材・郷土料理	進和食文化の理解促進	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知品ロス削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知品ロス削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知品ロス削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知品ロス削減	ア ル多様なライフスタイル	イ 的一體的(組織横断)	ウ 日時常代へデ対ジタル化したな	
132	継続	青葉区	宮城総合支所保健福祉課	西部地区の健康づくり	基礎健診・特定健診 集団健診 受診者等	宮城総合支所管内西部地区で行う集団健診や集団健診事後指導の機会に、健康教育・普及・啓発を実施。口腔機能向上・栄養・運動と1年毎にテーマを変えて、3年間地域関係機関と連携しながら実施	R6は栄養（甘味飲料の適正摂取）をテーマに実施。 集団健診時の啓発展示 9月実施 受診者79名 アンケート実施 68名 リーフレット配布 82名	R7は運動をテーマに実施。 集団健診時の啓発展示 9月予定	○	○	○									○		
133	継続	青葉区	宮城総合支所保健福祉課	健康づくり相談 基礎健診査事後指導	一般市民、 健診受診者等	健康づくりのための食生活相談	12件実施	健康づくり相談 年9回実施予定 (基礎健診事後指導含む)	○	○	○								○	○		
134	継続	宮城野区	家庭健康課	動画による情報発信	乳幼児とその親	B C G接種来所者に向けて離乳食開始～1か月頃の進め方についての動画放映	・B C G接種来所者に向けた動画放映 年23回	B C G接種が医療機関での個別接種に変更となつたことから、実施なし	○	○	○								○		○	
135	継続	宮城野区	家庭健康課	おやつレシピコンテスト	子育て中の保護者とその子ども 専門学校の学生	・専門学校と連携し、親子が一緒に調理できる、野菜を使ったおやつレシピのコンテストを開催。 ・入賞レシピをホームページや関係機関、イベント等で配布。 ・作り方動画の発信。	・25作品応募 ・審査会（食育センター3団体3名のびすく宮城野職員1名、専門学校教諭1名、専門学校生5名）参加 ・月間事業等でレシピ配布449部 ・子育て支援機関への食育啓発カード配布 84施設6,165部 ・調理動画再生数44回 ・ホームページ閲覧数236件	R6と同様に実施		○										○		○
136	継続	宮城野区	家庭健康課	適切な食習慣についての啓発	児童とその親	地域の児童館主催の朝ごはんを提供する「朝力フェ」にて朝食に関するリーフレット、むし歯予防リーフレット、歯ブラシを配布、飲み物の糖質量パネルなどの展示	2回 100部配布	R6と同様に実施	○	○	○								○			
137	継続	宮城野区	家庭健康課	食育センターの活動支援	食育センター	①食育センターの活動の場の提供 ②市民に向け活動内容の紹介等	・おやつレシピコンテスト審査員（3団体3名参加） ・食育センター考案レシピの配布（計99部）	R6と同様に実施					○	○					○			
138	継続	宮城野区	家庭健康課	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・学校を訪問し、健康課題など状況を把握する ・リーフレット、学校の掲示板やメール等を活用した食育や健康づくりの啓発	対象校10校に、啓発資料送付年3回のうち、2回食育の内容を発信	R6と同様に実施	○	○	○								○		○	
139	継続	宮城野区	家庭健康課	食育情報交換会	認可保育所、認定こども園	食育に関する講話、事例発表、情報交換等	1回23施設23名参加	R6と同様に実施	○	○	○	○	○						○			
140	継続	宮城野区	家庭健康課	学齢期健康づくり事業	児童・生徒、保護者	児童館や小学校・中学校と地域の健康課題を共にし、生活習慣改善に向けた教室等と一緒に企画し実施する。	13回延べ840名（小学校11回、中学校2回）	R6と同様に実施	○	○	○								○			
141	継続	宮城野区	家庭健康課	学校保健・地域保健懇談会	小・中学校の養護教諭、児童館職員	児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換、連携方法の検討	年2回（①鶴ヶ谷地区小・中・児童館対象：4施設7名参加、②区内小・中学校対象：18校20名参加）	R6と同様に実施	○	○	○								○			
142	継続	宮城野区	家庭健康課	健康情報の提供	タクシー事業者、理美容組合員	職員や顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	年12回のうち、栄養関係情報提供3回77か所（計225部）	R6と同様に実施		○	○											
143	継続	宮城野区	家庭健康課	健康生活講座	一般市民	健康づくりのための食生活講話、演習	・高血糖をテーマとした4回連続講座のうち食事についての講話（1回、23名参加） ・骨粗鬆症検診事後指導（1回8名）	R6と同様に実施	○	○	○								○			
144	継続	宮城野区	家庭健康課	幼児健診事後指導教室（うさぎ、こぐま）	乳幼児の保護者	1歳6か月児健診事後指導教室（うさぎ）、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導教室（こぐま）での幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	うさぎ2回13名、こぐま2回4名	うさぎ 2回、こぐま 2回		○												
145	継続	若林区	家庭健康課	児童館等における生活習慣病予防事業	1~2歳児の保護者	児童館と連携し、啓発媒体の掲示や、保健師・歯科衛生士・栄養士による講話をを行い、乳幼児期に必要な情報を提供する	①講話 4施設14組参加 ②砂糖の量啓発パネル（R6.4~R7.3） ③児童館だよりへの啓発記事掲載（R6.4~R7.3）	①講話 5施設 ②砂糖の量啓発パネル（R7.4~R8.3） ③児童館だよりへの啓発記事掲載（R7.4~R8.3）		○	○									○	○	

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針			
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他				
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 地元活用食材・郷土料理	2-2 和食文化の理解促進	3-1 地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知削減	3-3 の小食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代へ対応する新たな	
									の地元活用食材・郷土料理	進和食文化の理解促進	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知削減	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代へ対応する新たな	
146	継続	若林区	家庭健康課	子育て支援施設における歯科保健推進事業（児童館等連携歯科保健推進事業）	施設利用親子・施設職員	乳幼児の歯と口の健康及び保護者や施設職員等の成人の歯と口腔の健康づくりに関する歯科健康新教育・歯科保健指導	3施設 延べ6回 39組	R6年度同様に実施 3施設延べ6回開催予定			○									○		
147	継続	若林区	家庭健康課	食育推進研修会	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者、訪問栄養相談員	・食育や健康づくりに関する講演、事例紹介、情報交換	「遊んで動いて学ぶ 食育の実践」と題して宮城学院女子大学 丹野久美子氏より講演いただいた。 23 施設（24人）参加	11月開催予定		○										○	○	○
148	継続	若林区	家庭健康課	地域健康教育（ゲストティーチャー事業）	小・中・高校生等	生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	開催回数 7回 参加 延べ 小学生290人、中学生108人、高校144人	開催予定 通年		○										○	○	
149	継続	若林区	家庭健康課	健康づくり講座	一般市民	健康づくり啓発普及のための講話	開催回数 3回 参加 延36人	開催予定 4回		○										○		
150	継続	太白区	家庭健康課	朝食摂取啓発事業	幼児、小学生とその保護者	・朝食摂取に関する講話、パネル展示、啓発物の配布 ・「おにぎり」を作る体験を通して、食への興味関心を高め、基本的な食習慣を身につけるきっかけをつくる	2回延べ179人	・区・地域の実情に合わせ、アクションプランの重点項目の視点を盛り込んだ内容も加えて伝える ・啓発場所の拡大	○ ○											○		
151	継続	太白区	家庭健康課	せんだいTube、太白区チャンネルでの情報発信	一般市民（メインターゲット子育て世代）	離乳食レシピ動画、地域と連携した食育動画、野菜食育プログラム連動レシピ動画、仙台特産野菜レシピ動画の発信 リーフレットやポスター等を活用した周知	・動画制作・配信 離乳食動画3種類制作・計5種類配信 食育動画計8種類配信 ・動画啓発 リーフレット配付 1,791部、ポスター掲示 7施設	R6事業内容と同様に実施	○ ○		○	○							○	○	○	
152	継続	太白区	家庭健康課	ララガーデン長町でのウォーキングクイズラリー	市民	館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに解答。参加者にクイズの解答と健康新情報を掲載した資料等を配付	年1回実施し、27部資料配付	・年 1回8月にR6と同様内容で実施予定。	○ ○										○	○		
153	継続	太白区	家庭健康課	若い世代の健康づくり支援事業	大学生等	管内の大学等と連携し、学生に対して健康的な食生活等、健康づくりの内容を盛り込んだ健康教育の実施や資料の配布	①管内大学の1年生への健康教育（健康的な食生活、歯と口の健康、防煙の総合的な内容） 1回105名参加 ②管内大学祭、専門学校で資料配布 2回207部	R6事業内容と同様に実施	○ ○ ○											○		
154	継続	太白区	家庭健康課	太白区食育推進事業（「モーベジ！」を活用した啓発）	一般市民（メインターゲット子育て世代）	「モーベジ！」を標語として、朝食と野菜摂取を各種事業（幼児健診、離乳食教室等）、イベント、関係機関（保育園、小学校等）との連携事業等で周知・啓発、HPでの公開	各種事業、関係機関での啓発（資料・レシピ配布）モーベジスタートガイド 2,774部、モーベジレシピ 1,481部	R6事業内容と同様に実施	○ ○										○	○	○	
155	継続	太白区	家庭健康課	幼児食育推進連携事業	幼児とその保護者	管内保育所(園)、幼稚園等で幼児及び保護者双方を対象にデジタル媒体を取り入れた野菜に関する食育プログラム（食育通信、DVD、レシピ動画等）を実施する	9施設 3～5歳児延べ380人実施	啓発内容を拡充し、生活リズムや栄養バランス、調理工夫、おやつなどの関する情報も提供する。	○ ○										○	○	○	
156	継続	太白区	家庭健康課	ハロー赤ちゃん	初妊婦	来所による妊娠中の食生活についての集団指導を実施する	集団指導:6回 アクションプランの重点項目の視点を盛り込んだ内容も伝える 個別指導：希望者へ実施	集団指導:6回 アクションプランの重点項目の視点を盛り込んだ内容も伝える 個別指導：希望者へ実施	○ ○ ○										○	○		

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点								★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境						
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 品環境周知品ロス削減	3-3 の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ 的一體的(組織横断)	ウ 日時代へ対応タール新化的な
									の地元活用食材・郷土料理	進和食文化の理解促進	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知品ロス削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知品ロス削減	の地元活用食材・旬の食材	品環境周知品ロス削減	の地元活用食材・旬の食材	ア ル多様なライフスタイル	イ 的一體的(組織横断)	ウ 日時代へ対応タール新化的な	
157	継続	太白区	家庭健康課	地域と共に育む子どもの健康づくり事業	幼児・児童と保護者	幼児、児童に対して、食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを活用し、朝ごはんとおやつについて啓発。保護者向けパンフレット配付	10施設(保育所1、保育園3、こども園2、児童館4) 延316名	R6事業内容と同様に実施	○	○	○								○	○	
158	継続	太白区	家庭健康課	生活習慣病予防講座(健康づくり講座)	基礎・特定健診要指導者	・生活習慣病発症予防のため、前年度特定健診・基礎健診受診者のうち、HbA1c5.6~6.4%に該当する太白区居住の35~64歳を対象として栄養講話、歯科講話、運動講話・実技を集団で指導する	・652名に通知送付 ・糖尿病予防をテーマに2回講座を1クールとして実施 1回目：歯科講話・栄養講話 延13名参加 2回目：運動講話・実技、尿ナトカリ比測定 3回目：医師講話、尿ナトカリ比測定	1クール(3回講座)実施予定 1回目：栄養・歯科講話 2回目：運動講話・実技、尿ナトカリ比測定 3回目：医師講話、尿ナトカリ比測定	○	○	○								○		
159	継続	太白区	家庭健康課 秋保総合支所保健福祉課	食育担当者情報交換会	保育所、幼稚園、学校の食育担当者	事例発表、情報提供、情報交換等の開催	太白区役所大規模改修工事のため、会場を確保できず中止	実施について検討中	○	○	○							○	○		
160	継続	太白区	秋保総合支所保健福祉課	秋保くらしの保健室(区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及の再掲)	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会、健康づくりに関する情報提供等(包括支援センター、市民センター共催)	8回開催 来所者362名、個別相談117件	8回開催予定	○	○	○	○									
161	継続	太白区	秋保総合支所保健福祉課	学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士、支所栄養指導員	食育や健康づくりに関する取り組み、給食管理等についての情報交換	8月開催 5名参加	8月開催予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
162	継続	泉区	家庭健康課	若い世代の健康づくり支援事業	大学生等	①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。 ②東北生活文化大学との連携により、若い世代向けの啓発媒体を作成し、食育月間や大学祭の食育ブース等での啓発に活用する。	①朝食のポスター配布 8施設 ②大学祭での食育ブースで作成媒体を活用(参加者延べ217名、従事者 学生34名)、大学祭での啓発媒体作成(実施後のアンケート：啓発媒体を作成して行動変容があった学生58%)	①朝食のポスターを配布予定 ②大学祭にて学生作成の啓発媒体を活用。アンケート実施予定(朝食摂取・意識の変化について)	○	○			○	○	○						
163	継続	泉区	家庭健康課	幼児健診事後指導教室(風の子)、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室(わんぱく)での、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	乳幼児の保護者	1歳6か月児健診事後指導教室(風の子)、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室(わんぱく)での、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	風の子 年2回、わんぱく 年2回 計4回で栄養講話と相談実施 参加者延べ34組、個別相談3件	【R7実施予定なし】 必要時個別相談を実施	○												
164	継続	泉区	家庭健康課	児童館等と連携した生活習慣病予防事業	児童館を利用する学童とその保護者	児童館等で飲み物やアイスに含まれる糖分量等の生活習慣病予防啓発パネルを展示 関連資料を配布	飲み物やおやつ、野菜摂取に関するパネル展示実施 児童センター、児童館、保健センター等 計7か所	R6と同様、児童館や児童センター等にて飲み物やおやつ等に関するパネル展示実施予定	○	○	○										
165	継続	泉区	家庭健康課	学齢期の生活習慣病予防事業(栄養)	小学生	児童館等で小学生を対象に食育講座を実施 保護者向けに関連資料の配布	野菜、朝食に関する食育講座実施 児童センター 2館 児童計40名	施設の希望により、食育講座を実施予定	○	○	○	○									
166	継続	泉区	家庭健康課	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	①働き盛り世代が集まる市民センターや地域のイベント等における啓発活動 ②衛生課との連携による区内事業者への啓発 ③まちづくり推進課との連携による啓発	①市民センターでのパネル展示、地域イベントへの参加等における啓発 延べ 3回 ②業種別講習会等 6回 延べ 246名 ③いづみ朝市でのパネル展示 計6回	①随時 ②開催形態に応じた啓発 ③随時	○	○	○										
167	継続	泉区	家庭健康課	生活習慣病予防講座(高森包括圏域地域連携事業)	高森包括圏域居住者	高森地域包括支援センター、泉区社協、泉ヶ丘児童センター、泉区保健福祉センター連携事業	・関係機関での打ち合わせを全8回実施。 ・同包括圏域内に健康づくりイベントを計2回実施。参加者34名。 生活習慣病予防のミニ講話を実施。関連資料を配布。	同包括圏域内に健康づくりイベントを年1回実施予定。	○	○	○								○		
168	継続	泉区	家庭健康課	子どもを対象とした食育	幼児～低学年	泉図書館でのおはなし会とタイアップし、ワークショップを実施する。	野菜を使ったおやつ作りを実施 野菜摂取に関するミニ講話、資料配布 参加者 親子6組、児童2名	泉図書館と協議の上、実施検討	○	○					○						

No	新規・継続	担当局	担当課	事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点								★推進方針						
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
									1-1 朝食の習慣化	1-2 栄養バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・食文化の理解促進	2-2 和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知負荷の小さい食	4-1 その他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ の統一的な組織横断	ウ 日時常代への対応		
169	継続	泉区	家庭健康課	学齢期の生活習慣病予防(栄養)	学齢期	朝食、おやつ、野菜に関するミニ講話	防煙教育と抱き合わせ、おやつに関するミニ講話を2施設、計144名に実施	R6と同様に、防煙教育等と抱き合わせ、ミニ講話を実施予定	○		○												
170	継続	宮城野区 太白区 泉区	家庭健康課	育児相談	乳幼児の保護者	親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応についての確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援をする	【宮城野区家庭健康課】 12回36名（高砂6回15名、岩切6回21名） 【太白区家庭健康課】 21回67名（区役所12回40名、東中田4回15名、茂庭台3回5名、生出3回4名） 【泉区家庭健康課】 定例での実施なし	【宮城野区家庭健康課】 R6年度同様に実施 【太白区家庭健康課】 事業内容は、R6と同様に実施予定 区役所12回、東中田4回、生出6回 【泉区家庭健康課】 定例事業としての実施予定なし	○	○	○								○				
171	継続	青葉区 太白区 泉区	泉区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	健康づくり啓発事業	みやぎ仙台商工会員等	みやぎ仙台商工会と連携し、会員に対して健康づくりや生活習慣病予防についてのポスターを送付、会報に記事を掲載	①「働く世代の健康情報」（健康政策課作成）の資料を会報9月号と合わせて送付 2000部 ②会報6月号・9月号に特定健診受診勧奨、結果の活用について啓発記事を掲載 ③健康出張講座等のチラシなどを商工会管内に設置	・R6と同様に実施予定 ①血糖に関する資料を会報9月号と合わせて送付：2000部 ②会報9月号に啓発記事を掲載 ③健康出張講座等のチラシなどを商工会管内に設置	○														
172	継続	宮城野区 太白区	家庭健康課	被災者向け健康情報紙の発行	復興公営住宅居住者等	栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を復興公営住宅等に配布する。	【宮城野区家庭健康課】 年1回発行 16町内会2,065部 【太白区家庭健康課】 年1回発行 511部	【宮城野区家庭健康課】 年4回発行のうち1回、栄養・食事に関する情報発信 【太白区家庭健康課】 事業内容は、R6と同様に実施予定 年1回発行予定	○	○	○												
173	継続	青葉区 宮城野区 若林区 太白区 泉区	家庭健康課 各総合支所保健福祉課	子育てフェスタ&健康フォーラムでの食育ブース出展	子育て中の家族、一般市民	子育て中の親子や一般市民に向け、楽しみながら食育の体験をしてもらうとともに、望ましい食生活についての知識を普及する	・1日に必要な野菜の量クイズ ・野菜の啓発資料の配布 ・朝グラの啓発 ○ ブース来場者：約300人	R6年度同様、家庭健康課・保健福祉課のブースとして出展予定 ・必要な野菜の量を予測して量ってみよう ・野菜のおなか当てクイズ	○	○													
174	新規	健康福祉局	健康政策課 各区家庭健康課 各総合支所保健福祉課	血糖値＆ナトカリ比適正化事業	一般市民	糖尿病および高血圧に起因する慢性腎臓病(CKD)の予防のため、市民の生活習慣改善の意識と実践力の向上をねらった、血糖値や尿ナトカリ比等の測定体験を取り入れた健康教育やイベントの実施。 専門職による講話・アドバイス等により、市民が測定結果を自身の食生活の見直しと改善につなげられるよう支援する。	※令和6年度は、各区家庭健康課において、既存の健康教育等の中で尿ナトカリ比測定を実施した。若林区では六郷地区健康づくり事業・地区健康教育を尿ナトカリ比測定による生活習慣改善のための健康教育イベントとして実施。 尿ナトカリ比測定により、食生活と血圧の関係性への興味が高まり、野菜摂取の意識を持つようになるなど、生活習慣の改善につながった。 【各区家庭健康課での尿ナトカリ比測定実績】 測定実施回数：15回実施 測定人数：延275人 (うち若林区六郷地区健康づくり事業として11回、延べ212人)	○ 全市イベントの実施。血糖値や尿ナトカリ比測定のほか、野菜摂取量の測定なども取り入れ、体と食事の関係について知り、生活習慣、食習慣を見直すきっかけとする。管理栄養士等専門職による講話および食生活のアドバイス等を実施し、適切な食習慣の実践を促す。食品関連事業者や健康づくりに関わる関係団体等と連携によるブース設置。 実施回数：1回 参加者目標：100人 ○ 各区で尿ナトカリ比測定を取り入れた健康教育やイベントの実施。 尿ナトカリ比測定の目標：20回、500人測定	○	○											○		
175	新規	こども家庭保健課	健康政策課 こども家庭保健課 各家庭健康課 各保健福祉課	多職種連携による乳幼児期の歯と口の健康づくり推進事業	乳幼児の健康に関わる支援者（医師、歯科医師、歯科衛生士、保健師、栄養士、保育士等）	多職種連携による口腔機能の育成支援として、子どもの健康に係る支援者が活用するための媒体「（仮）子どもの食べる力のサポートブック」制作	—	・「（仮）子どもの食べる力のサポートブック」検討部会開催 ・食べる力に関する各種調査			○	○								○			